

株式会社エンプラス

P R E S E N T A T I O N

2008年3月期

決算説明会

2008年4月28日

取締役 経営戦略本部長
酒井 崇

- Resume -

- 2008年3月期に実施した主な施策
- 2008年3月期決算概要（連結）
- 2009年3月期通期計画（連結）
- 各セグメントの事業戦略

PRESENTATION

2008年3月期に 実施した主な施策

2008年3月期に実施した主な施策

➤ 経営改革プランの策定

1．主力事業の磐石化

2．成長事業の基盤作り

3．グローバル経営の加速・進化

4．現場実行力の強化

5．組織マネジメント基盤の強化

2008年3月期に実施した主な施策




- Enplas (Korea) Inc.設立
- 半導体機器事業 技術開発センター設立
- Enplas (Europe) B.V.の休眠化
- 小型液晶関連事業
本社エンプラ事業部へ事業譲渡
- 自己株式の市場買付け（2008年3月期）
2,370,300株
- 自己株式の取得（4月28日決議）
1,000,000株（6月末まで）

4




PRESENTATION

2008年3月期 決算概要（連結）

損益実績		(単位：億円)			
	2007年3月期 実績			2008年3月期 実績	
売上高 (原価率)	314.4 (69.2%)	7.4% →		291.1 (70.9%)	
営業利益	20.9	62.0% →		7.9	
経常利益	21.7	64.9% →		7.6	
当期純利益	0.1	- →		11.6	
1株当たり当期純利益	0.87円	63.69円 →		62.82円	
1株当たり配当	20.00円	10.00円 →		10.00円	

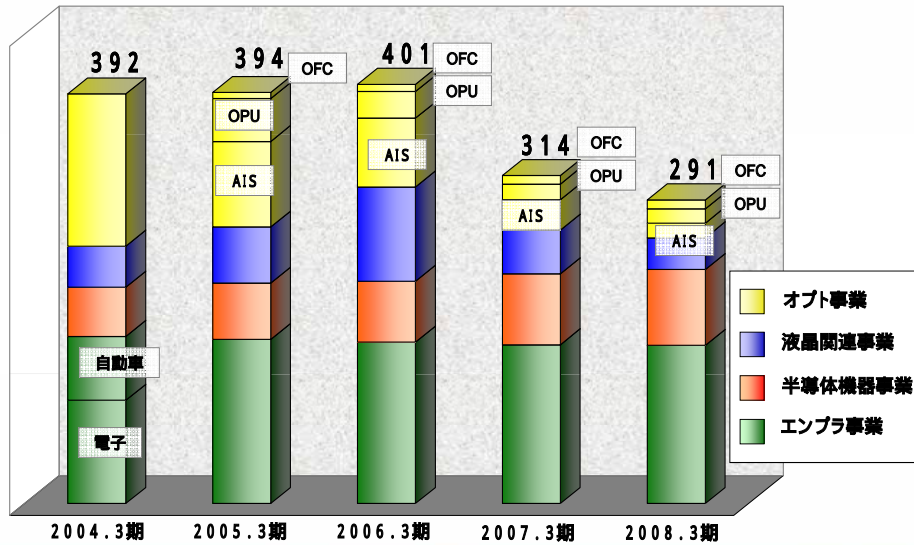
6

セグメント別売上実績		(単位：億円)			
	2007年3月期 実績			2008年3月期 実績	
エンブラ事業	152.2	0.4% →		151.6	
半導体機器事業	67.9	7.1% →		72.7	
液晶関連事業	41.8	27.5% →		30.3	
オプト事業	52.3	30.5% →		36.3	
計	314.4	7.4% →		291.1	

7

売上高推移

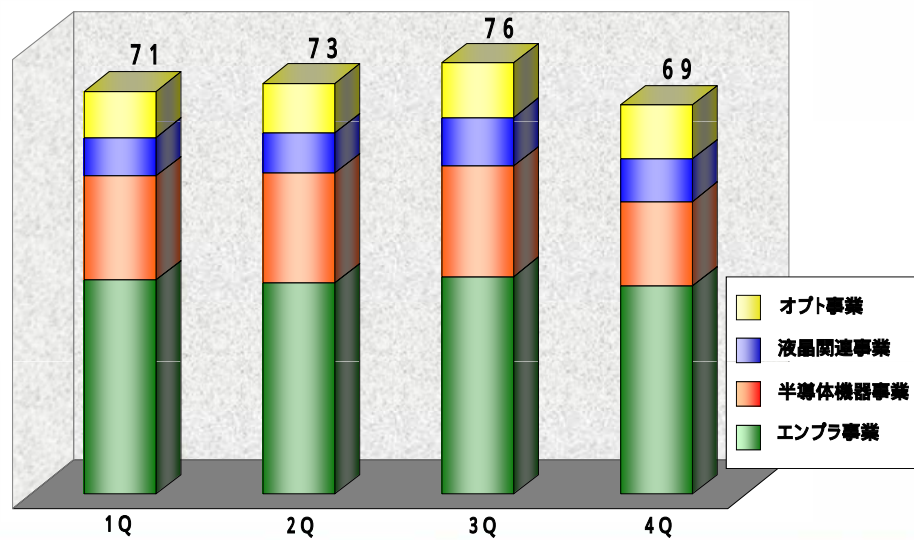
(単位：億円)



8

四半期売上高推移

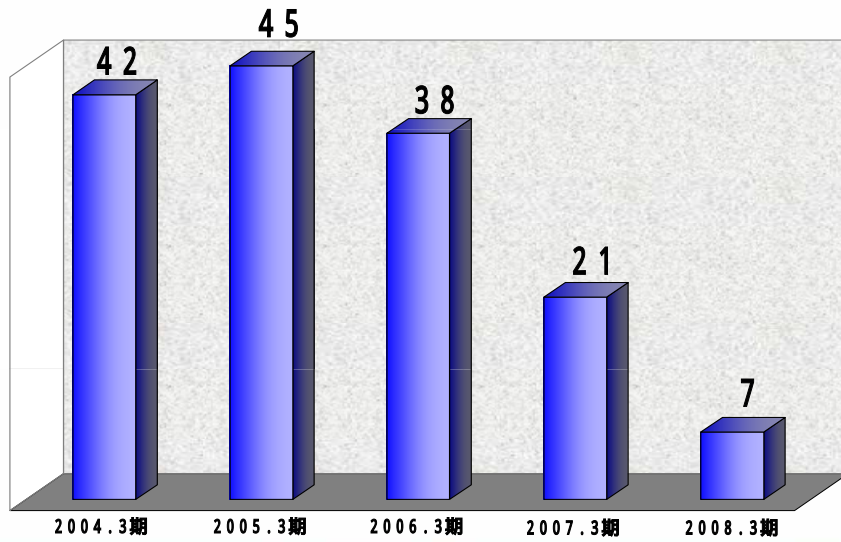
(単位：億円)



9

經常利益推移

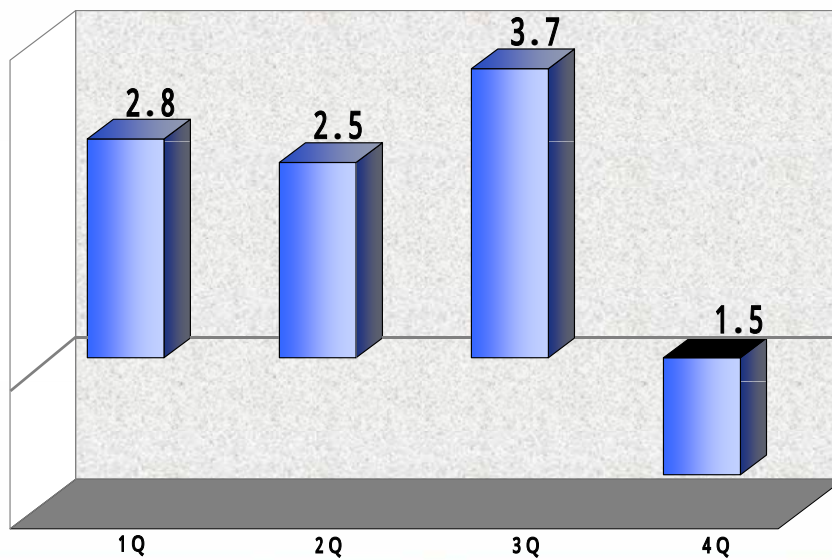
(單位：億円)



10

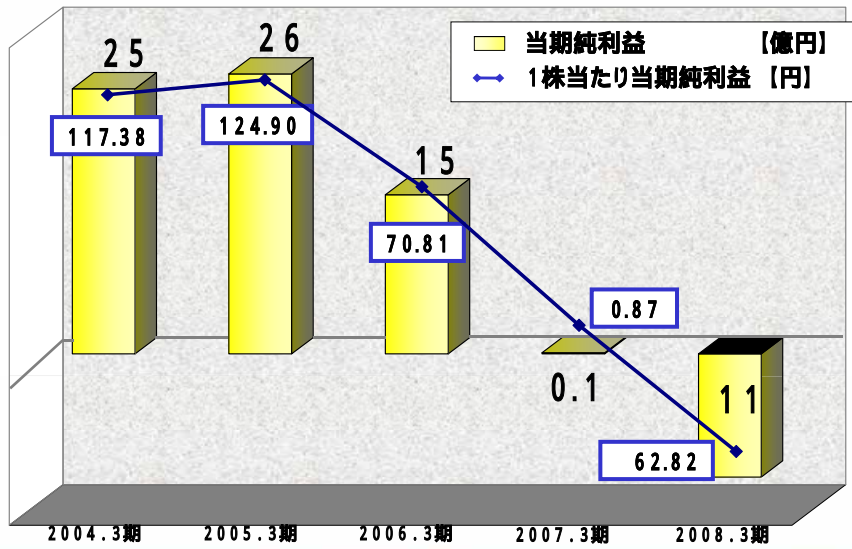
四半期經常利益推移

(單位：億円)



11

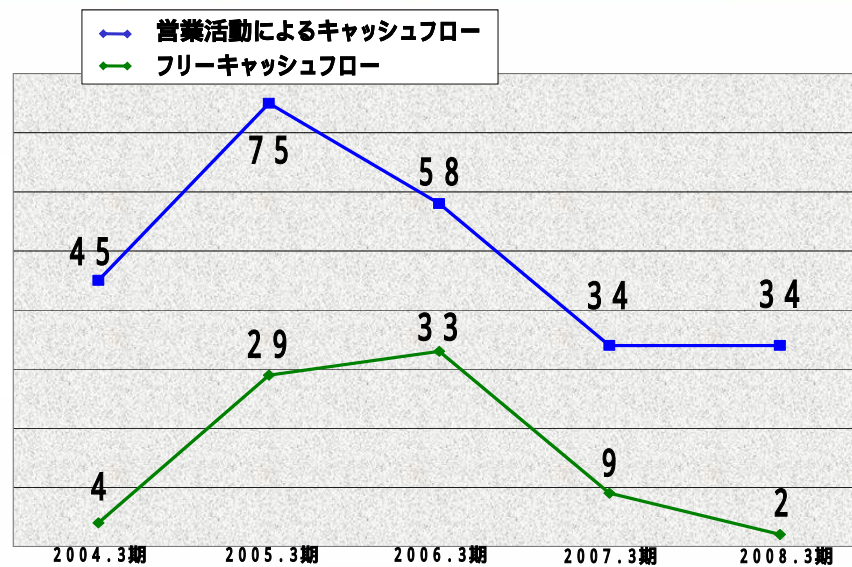
当期純利益推移



12

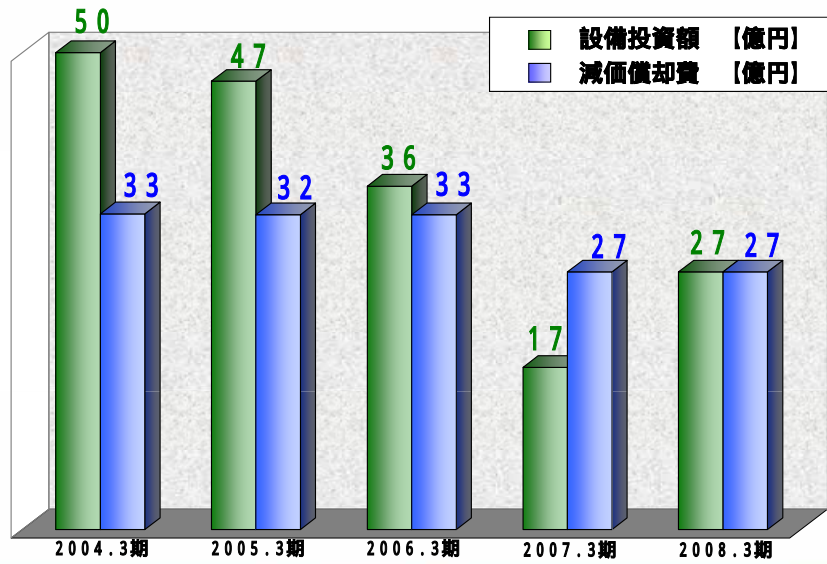
キャッシュフロー推移

(単位：億円)



13

設備投資額と減価償却費



14

PRESENTATION

2009年3月期
通期計画（連結）

2009年3月期 経営基本方針



1. 基幹事業（エンブラ事業）による
グループ成長の牽引
2. グループ事業の成長軌道への早期復帰・強化
3. 開発ビジョンの構築と新規事業の強化・育成
4. グローバルなコスト競争力強化
5. 計画的な人材の育成
6. スピード経営の実践
7. 内部統制システムの確立

16

2009年3月期 計画

（単位：億円）



	2008年3月期 実績		2009年3月期 計画	2009年3月期 上期計画
売上高 (原価率)	291.1 (70.9%)	0.4% → (2.3%p)	290.0 (140.0) (68.6%)	(69.6%)
営業利益	7.9	0.4% →	8.0 (1.0)	
経常利益	7.6	30.9% →	10.0 (2.0)	
当期純利益	11.6	- →	2.0 (0.0)	
1株当たり当期純利益	62.82円	74.36円 →	11.54円 (0.00円)	
1株当たり配当	10.00円	0.00円 →	10.00円 (5.00円)	

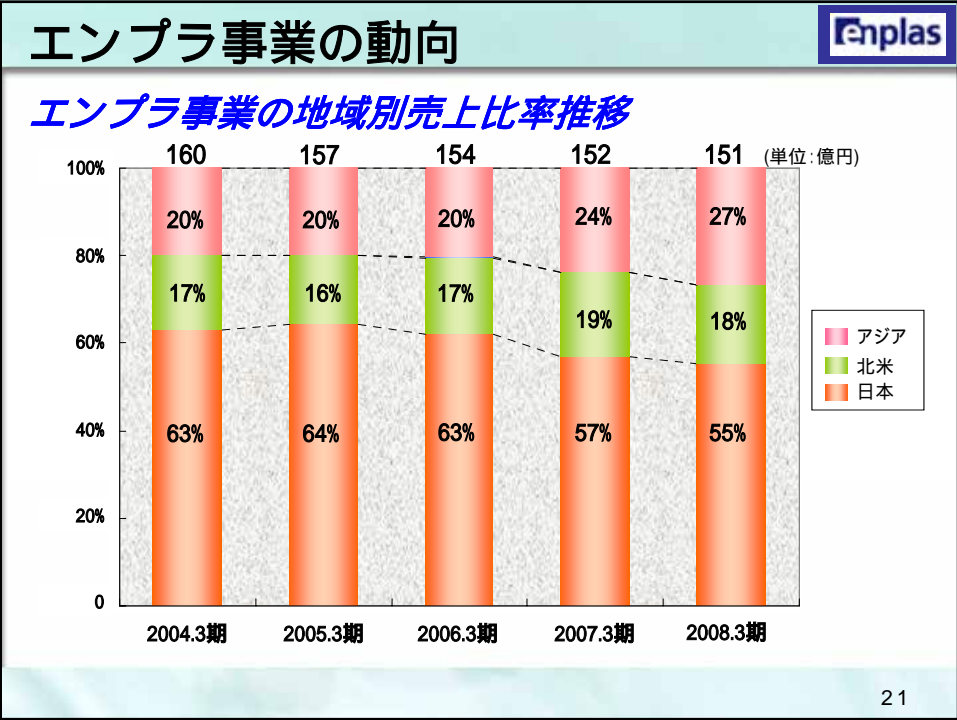
17

セグメント別 売上計画		(単位：億円)		enplas	
	2008年3月期 実績		2009年3月期 計画	2009年3月期 上期計画	
エンプラ事業	151.6	⇒ 5.5%	160.0	(78.0)	
半導体機器事業	72.7	⇒ 1.0%	72.0	(36.0)	
液晶関連事業	30.3	⇒ 34.2%	20.0	(8.0)	
オプト事業	36.3	⇒ 4.5%	38.0	(18.0)	
計	291.1	⇒ 0.4%	290.0	(140.0)	

18

参考指標		(単位：億円)		enplas	
	2008年3月期 実績		2009年3月期 計画		
設備投資額	27.1		28.0		
減価償却費	27.5		25.0		
試験研究費	12.3		12.0		
(売上高比)	(4.3%)		(4.1%)		

19



エンブラ事業



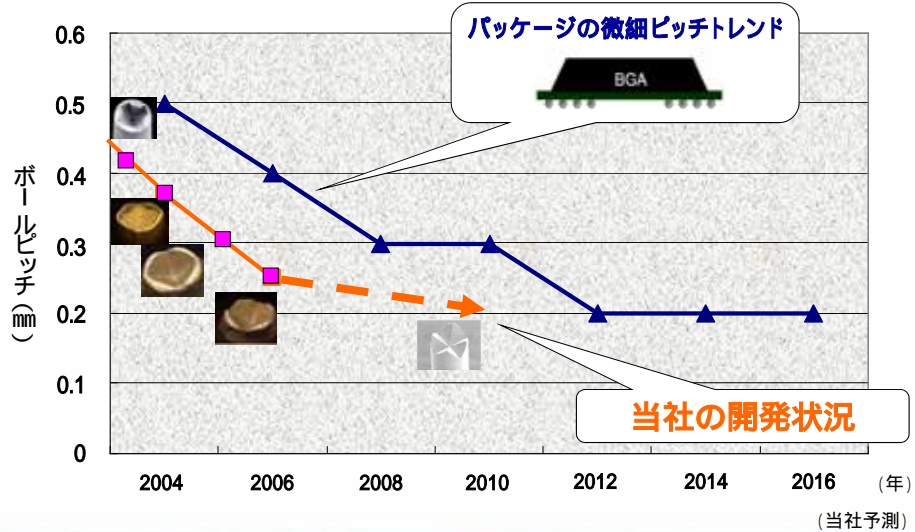
- 本格的なグローバル展開によるOAとAU及びその他市場でのビジネスの拡大
- グローバル競争力のある生産技術の展開
- 世界同一高品質の提供

22

半導体機器事業



最先端微細ピッチトレンド



23

半導体機器事業



- 技術開発センター活用による超微細
接触子技術の更なる先行開発
- テストソケットビジネスの強化拡大
- ウェハーレベルバーンインビジネスへの展開
- バーンインソケット市場におけるシェア拡大

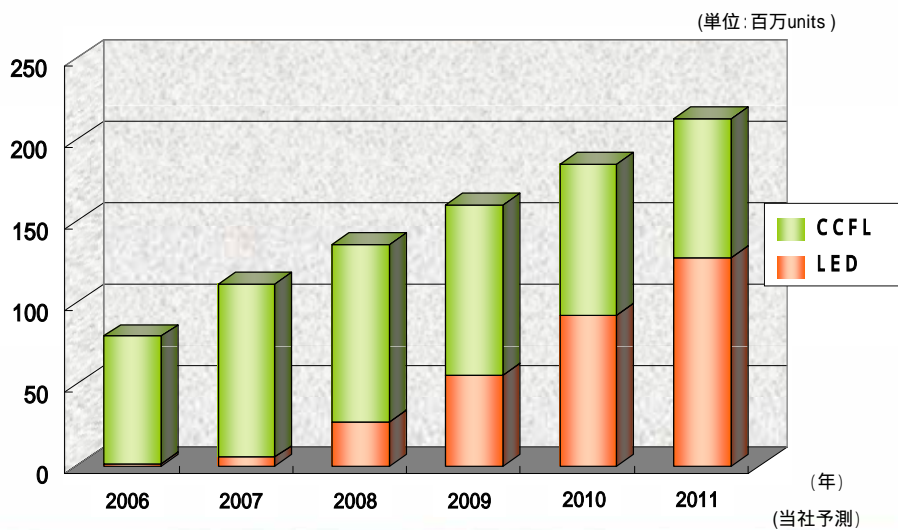


24

液晶関連事業



ノートPC バックライト市場予測



25

液晶関連事業



- 成長市場での積極的な事業機会の獲得
- 薄型LED用導光板の
技術優位性強化と事業化
- FPD市場での新製品・新事業開発

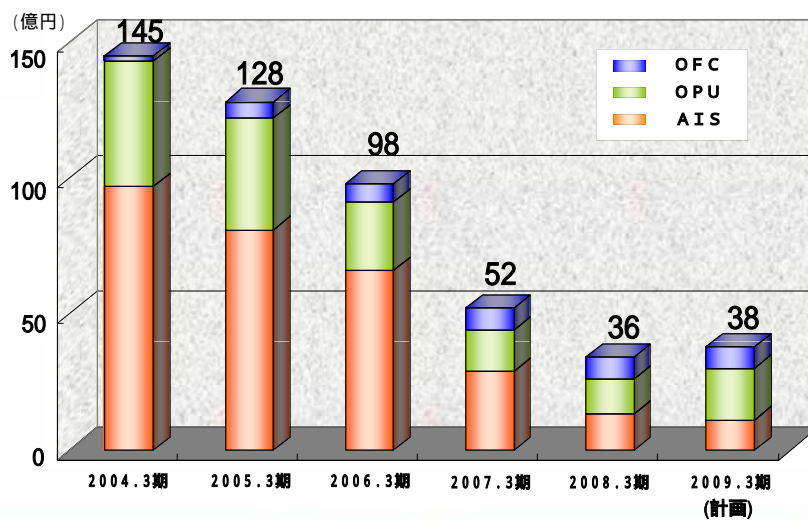


26

オプト事業



売上高推移

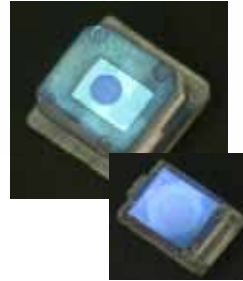
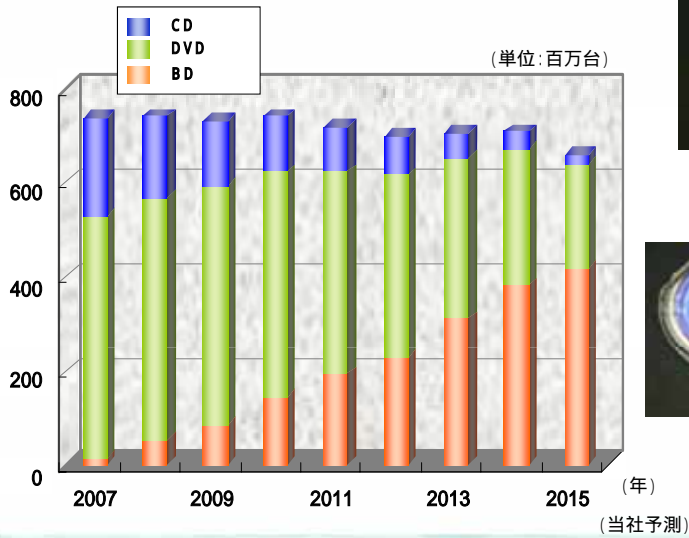


27

オプト事業の動向 - O P U -



ディスクフォーマット別市場予測



28

オプト事業



- 持続的成長基盤の確立
 1. 事業環境変化へ即応できるマネジメントシステムの確立
 2. グローバル生産体制の確立
- 高付加価値新製品の開発



29

新事業-LED関連-



LED照明



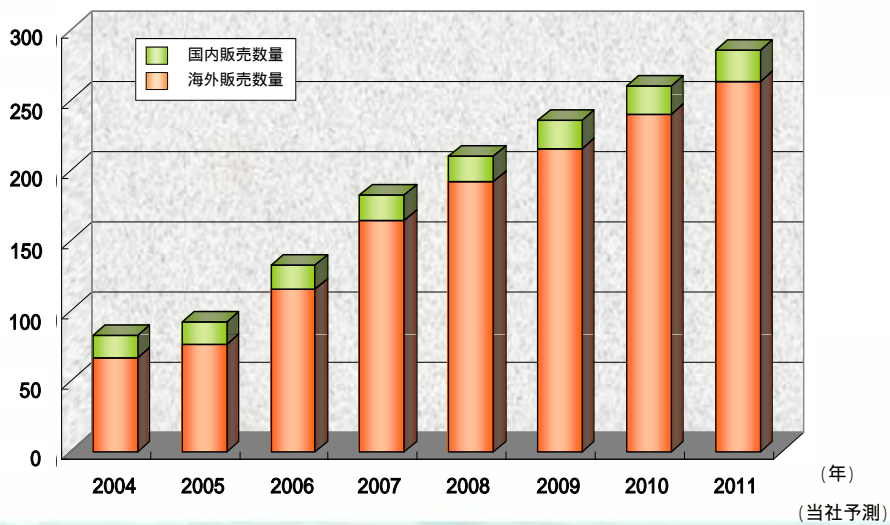
30

新事業-LED関連-



白色LED販売予測

(単位: 億個)

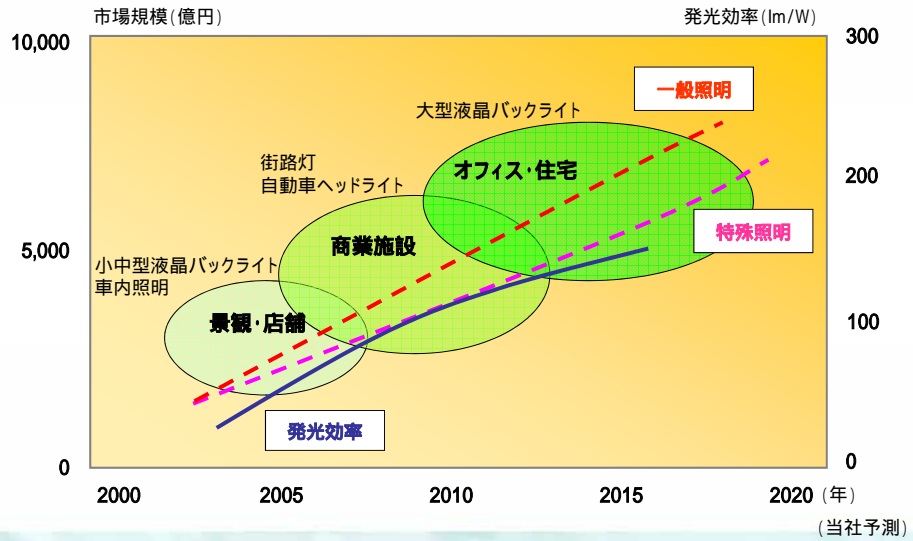


31

新事業-LED関連-



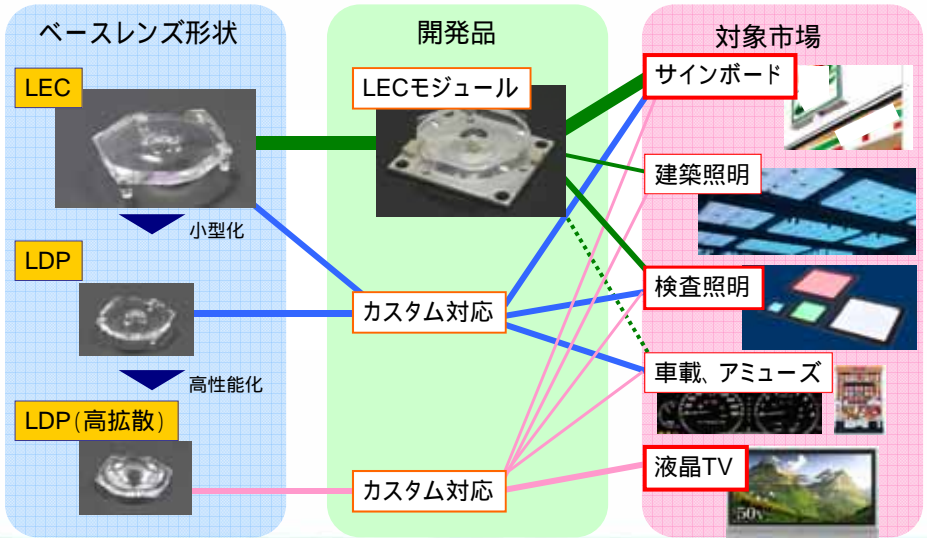
白色LED市場規模と発光効率予測



新事業-LED関連-



LED拡散レンズの開発アイテム



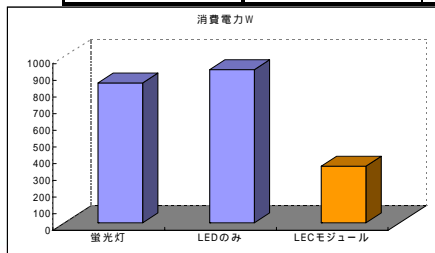
新事業-LED関連-



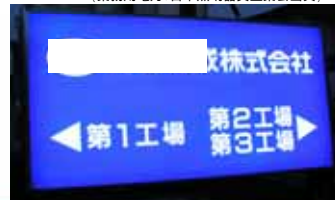
LECの経済比較

看板サイズ: 2,800 × 1,400mm

	蛍光灯	LEDのみ	LEC使用
光源個数	40W × 12本 20W × 6本	1,674個	576個
使用電力	約840W	約920W	約340W
年間使用電力量	約3,679kWh (約8.5万円)	約4,030kWh (約9.3万円)	約1,489kWh (約3.4万円)



年間稼働: 1日12時間点灯 = 4,380h
電気代換算: 23kW/h
(業務用電力: 日本照明器具工業会出典)

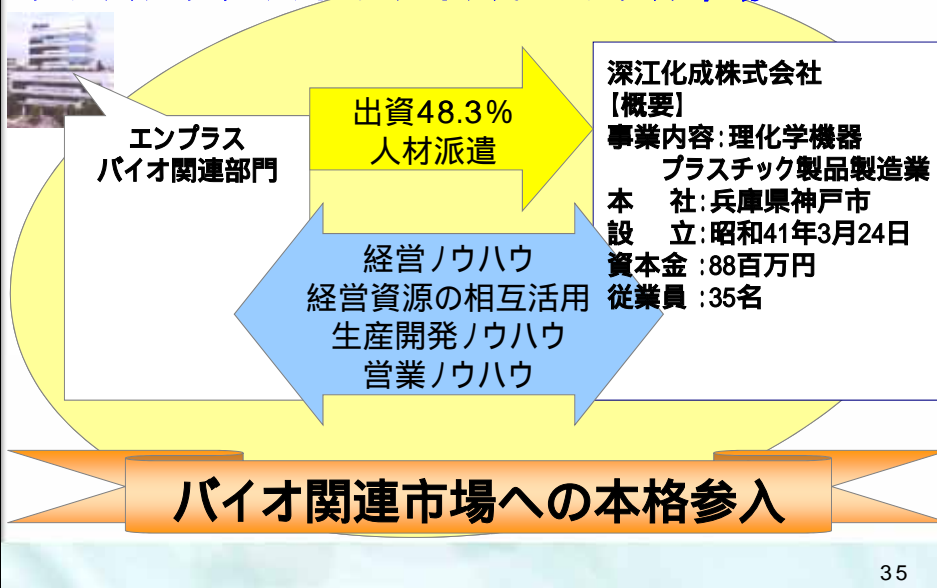


34

新事業-バイオ関連-



プラスチック バイオ ディスポーザブル市場



35

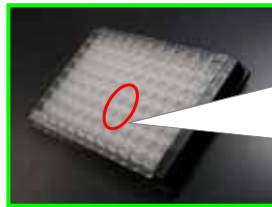
新事業-バイオ関連-



高機能タイタープレート

▶ 生化学用途反応部材をウェル内に導入するプレート

- ◆ 動物試験を回避し簡便にエンドトキシン検出検査ができる
- ◆ その他様々な生化学用途の
 - 反応と検出がより簡便に行える
 - 測定感度の高度化
 - 高額試薬の削減
 - 多検体の同時処理や自動化



36



ご清聴有難うございました。

P R E S E N T A T I O N



株式会社エンプラス